

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名：医学教育用シミュレーションソフトウェア Body Interact®を用いた臨床実習における医学部学生の満足度、学修効果に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

対象は、本学医学部4年次～5年次（M4-5, 1週間単位のBSL）；110人/年、5年次～6年次（M5-6, 1ヶ月単位のクリニカルクラークシップ）；130人/年の学生です（全員成人）。当講座のクルズスにシミュレーションソフトウェア Body Interact®と卓上投影式の手指操作パッド（日立マクセル、日本）を組み合わせたリアルタイムに進行する Project-Based Learning（PBL）を導入します。受講した学生の満足度について Visual Analogue Scale（VAS）で評価します。不満な点や改善が求められる点については学生の自由形式で回答を求めます。すべての学生にルーブリック式の学習評価票を記入してもらい（主観的評価）、教員もグループ単位で学生の修得度をルーブリック（同上）に記入し、実習前後でシミュレーションソフトのスコアにどのような変化が見られたか評価します（客観的評価）。本研究は医学教育に関する学術研究であり、2019年10月1日から2024年12月31日まで当講座における臨床実習を受講する学生の実習態度や成績の一部を利用します。「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

2. 研究目的・方法

【背景・目的】本学では、医学部4年生後期から病棟での臨床実習が開始します。同実習期間中に、系統講義の内容を補完することや、臨床医学に関する practical な知識を新たに習得させるため、2-3単位/回（班）のクルズス（小講義）を開講しています。従来、内科系講座では、その多くが配布プリントや Power Point®などを用いた受動的な講義型式であり、また、系統講義と病棟臨床実習を橋渡しするカリキュラムが従来の卒前医学教育には不十分でした。医学教育は従来の講義を主とした「座学」のみの形態から自主的な思考能力を活かす実習（アクティブラーニング）やデジタルソフトウェアやアプリケーションなど ICT を用いた「バーチャル体験型教育」を織り交ぜた新たな形態に移行しつつあります。従来の受動的な聴講形式のクルズスから、系統的学習で得た知識を駆使して学生主体で問題の発見・解決を図る様式のクルズスへ移行するひとつの手段として、当講座では試験的に医学教育用シミュレーションソフトウェア Body Interact®（Take the wind, コインブラ・ポルトガル）を導入します。そうした ICT を利用したクルズス（ICT mediated medical

education (i-me)) に対する医学部生の満足度をアンケートで評価し、主観的・客観的指標を用いて学生の学修効果を評価し、現時点での問題点を探索することを本研究の目的とします。

【方法】対象は、本学医学部4年次～5年次 (M4-5, 1週間単位のBSL); 110人/年、5年次～6年次 (M5-6, 1ヶ月単位のクリニカルクラークシップ); 130人/年の学生です (全員成人)。当講座のクルズスにシミュレーションソフトウェア Body Interact®と卓上投影式の手指操作パッド (日立マクセル、日本) を組み合わせたリアルタイムに進行する Project-Based Learning (PBL) を導入します。受講した学生の満足度について Visual Analogue Scale (VAS) で評価します。不満な点や改善が求められる点については学生の自由形式で回答を求めます。すべての学生にルーブリック式の学習評価票を記入してもらい (主観的評価)、教員もグループ単位で学生の修得度をルーブリック (同上) に記入し、実習前後でシミュレーションソフトの算出するスコアにどのような変化が見られたかを評価します (客観的評価)。本研究は医学教育に関する学術研究であり、2020年9月1日から2024年12月31日まで当講座における臨床実習を受講する学生の実習態度や成績の一部を利用します。「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

診療情報の利用に伴う同意取得の方法：院内掲示又はホームページによるオプトアウトを行います。研究概要 (研究目的・調査内容等) を適切に通知・公開し、診療録情報の利用について適切な拒否機会を与えます。

研究期間 医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから 2024年 12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

担当教員が記載する内容も含めポートフォリオ内の情報；年齢、性別、与えられたテーマに関する事前学習の程度

4. お問い合わせ先

昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科 鈴木 慎太郎 (内線 8532・PHS3109)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部 呼吸器・アレルギー内科 氏名：鈴木慎太郎 (すずきしんたろう)

住所：〒142-8666 品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532

研究責任者：昭和大学医学部内科学講座

呼吸器・アレルギー内科 講師 鈴木 慎太郎